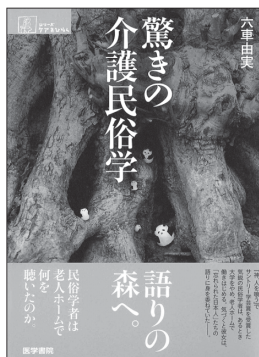


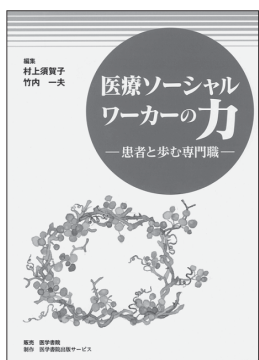
今月の3冊プラス1



驚きの介護民俗学

著：六車由美 発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：2100 円(本体 2000 円＋税 5%)

民俗学の研究者だった著者は、あるとき大学を辞めて、老人ホームで働きはじめた。そこで出会った高齢者の語りを聞くことは、従来のフィールドにはない刺激的な体験であり、驚きと発見の連続だった。介護職として、民俗学者として、日常の介護現場で出会う利用者への「聞き書き」がもつ力を考察し、「介護民俗学」として結実したものが本書。本書の終わりで著者は、「介護予防」ではなく、要介護状態になることを本人と家族が受け入れる準備期間として、「介護準備」という考えを提案している。



医療ソーシャルワーカーの力 患者と歩む専門職

編：村上須賀子、竹内一夫 受託販売：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：2625 円(本体 2500 円＋税 5%)

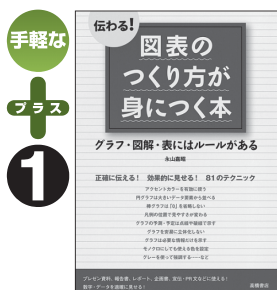
月刊誌『病院』の連載「医療ソーシャルワーカーの働きを検証する」を再録・編集して単行本化。医療ソーシャルワーカー(MSW)が医療の現場でどのような働きをしているのかは意外に知られていない。本書には、MSW の実践例が、協働した他職種の報告とともにまとめられ、医療関係者だけでなく行政や地域とも連携して患者・家族を支える MSW の力が臨場感溢れるタッチで表されている。患者が自分らしい生活を取り戻すためには、生活を支援する MSW の力が必要であることがわかる本。



町づくろいの思想

著：森まゆみ 発行：みすず書房 TEL：03-3814-0131
定価：2520 円(本体 2400 円＋税 5%)

本誌で「町で暮らし人と出会う」を連載中の著者が 2008 年以降にインターネットサイトや活字メディアに書いてきた時評コラムを編んだ 1 冊。この間に起きた著者の「生涯最大の事件」である東日本大震災とそれに続く原発事故により、ふるさとに住むことができなくなった人々、いまだに住む場所が定まらない人々がいることを忘れてはいけなとする著者の主張は、自らのさまざまな経験にもとづいている。いかにして社会をつくっていくかを問う、観察と提言と実践の本。



伝わる！ 図表のつくり方が身につく本

著：永山嘉昭 発行：高橋書店 TEL：03-3943-4525
定価：1365 円(本体 1300 円＋税 5%)

グラフ・図解・表にはルールがある！ プレゼン資料、報告書、レポートなどで、数字やデータを正確に伝え、効果的に見せるための 81 のテクニックを紹介する。「アクセントカラーを有効に使う」「円グラフは大きいデータ要素から並べる」「グラフは必要な情報だけを示す」「棒グラフは 0 を省略しない」など、知っているようで知らない基本的アドバイスが満載。さっそく使ってみたくなる。